

平成 23 年度 現代社会学部(地域学部も含む)の活動内容について

学部長 北野 孝一

現代社会学部の学内事業関係

[1]「上級情報処理実務士」、「上級ビジネス実務士」、「社会調査実務士」、「国際ボランティア実務士」、「ウェブデザイン実務士」に加えて、平成 17 年度から「NPO実務士」の資格認定課程を設置した。日本の大学で体系的なカリキュラムを持っているのは本学部のみ。(一般財団法人 全国大学実務教育協会)平成 19 年度から「観光ビジネス実務士」の資格の課程を設置した。平成 20 年度からは、現代社会学部のカリキュラムで「上級環境マネジメント実務士」の資格の課程設置が認可された。同年度から現代社会学部でも「上級ビジネス実務士」、「観光ビジネス実務士」の資格、平成 21 年度からは「NPO実務士」、「国際ボランティア実務士」の資格の課程が認可された。平成 24 年度からカリキュラムが改正されるのでこのようなカリキュラムによる資格取得は年次進行により不可能となる。

[2] 企業などの提供講座で一般社会に公開する授業科目

① 国際協力論 (一部 JICA 提供) ② NPO・NGO 論 (担当: コーディネーター谷口新一) ③ 経営情報特別講義 (野村證券提供) ④ 環境特別講義 (北陸電力、日本海ガスなど提供)、平成 21 年度から現代社会学部の⑤ 環境デザイン特別講義 (北陸電力、日本海ガスなど提供) として継続実施。平成 16 年度より新たに⑥ 観光政策論 (富山県提供) を、平成 19 年度から⑦ 地域学概説—総合学としての日本海学— (一部を富山県提供) として開設・継続実施した。平成 21 年度から⑨ 地域環境論—総合学としての日本海学— (一部を富山県提供) として継続実施。

[3] 後期に実施した観光政策論 (富山県提供講座)

地域学部では、平成 16 年度後期から下記のような科目を新設し、観光ビジネス、地域の活性化等に対するカリキュラムを強化し地域学部の理念・目標達成に資すること及び平成 20 年度改組して開設した現代社会学部の観光専攻への期待も抱かせる講座となった。観光政策論 (富山県提供講座) として現代社会学部でも実施してきた。平成 23 年度は今年度は「地域資源の活用と魅力的なまちづくり」をテーマに、学識経験者や実務家等の外部講師を招聘して多様な視点から講義を実施した。

講師名と講義テーマ

平成 23 年 10 月 17 日 地域ブランドと魅力あるまちづくり、東京国際空港ターミナル(株)常務取締役 佐々木 一成 氏
 10 月 31 日 地域資源活用と観光まちづくりの視点、社団法人日本観光協会常務理事 丁野 朗 氏
 11 月 21 日 エコツーリズムの発想での地域再生、(株)ぶなの森 代表取締役 高峰 博保 氏
 11 月 28 日 ヒト・コト・モノの地域ブランド育成、(株)玄代表取締役 政所 利子 氏
 12 月 5 日 地域を活かす・地域が活きる特産品、ロハス越前 事務局長 田中 滋子 氏
 12 月 7 日 若者の海外旅行離れと日本型マス・ツーリズムの現在形、関西大学准教授 山口 誠 氏
 12 月 12 日 地域づくりへの観光組織の新たな姿、一般社団法人 加賀市観光交流機構事務局長 岡田 基義 氏
 平成 24 年 1 月 16 日 富山県の観光政策、小矢部市観光協会 専務理事兼事務局長 森谷 義一 氏
 1 月 18 日 第 8 回とやま観光フォーラム 2012「B 級ご当地グルメと産業観光」(於: 富山国際会議場) として実施した。
 1 月 23 日 最新の観光宿泊動向とこれからの観光活性のアプローチについて、(株)リクルート旅行ディビジョン じゃらんリサーチセンター センター長 沢登 次彦 氏

[4] 「地域環境論—総合学としての日本海学—（富山県提供部分）」

- 5月30日 「富山で生まれた日本海学」富山県国際・日本海政策課 田中 厚 氏
- 6月6日 「日本海の環境保全に向けた国際的な取り組み」（財）環日本海環境協力センター（NPEC）
吉田 尚郁 研究員
- 6月13日 「ふるさとの海、富山湾に学ぶ」富山商船高等専門学校名誉教授 石森 繁樹 氏
- 6月20日 「水中カメラからみつめる富山湾」 太田潜水事務所／北陸水中映像 水中カメラマン
大田 希生 氏
- 6月27日 「天然記念物イタセンパラを守る～氷見市の取り組みから～」 氷見市教育委員会
生涯学習課学芸員 西尾 正輝 氏
- 7月4日 「ゼノフォビアを越えて：中ロ国境にみる経済交流」富山大学極東地域研究センター教授
堀江 典生 氏

[5] 文科省のG Pの採択について

- ① 平成21年度には、「大学教育・学生支援推進事業」【テーマB】学生支援推進プログラム
取り組み名称：学生・大学・地域社会との協同による地域貢献型社会人基礎力の育成
3ヵ年計画として本学の取り組みが採択されその最終年3年目として活動を行った。
（キャリア支援センター所管）
- ② 平成22年度には、「大学生の就業力育成支援事業」
取り組み名称：入学から卒業までの体系的な就業力育成教育
5ヵ年計画として本学の取り組み提案が採択された。文科省全体の予算縮減の要請により減額も
予想されるが、平成22、23年度と継続して活動した。政府の仕分けにより、残念ながら平成23年
度で全てのG Pが打ちきりとなった。

[6] 資格取得支援講座

現代社会学部では「なりたい自分」をサポートする資格支援ということでカリキュラム上で単位修得により取得できる資格に加えて、検定合格により取得できる資格取得支援の講座を通常の時間割外に、各資格教育の専門家に依頼して継続実施した。（受講希望者などに応じて受講料なども一部助成）大きな成果を上げたのは、平成23年度の資格支援講座名：国内旅行業務取扱管理者、を受講した者などから5名が合格した。（平成22年度は1名の合格であった）

[7] 現代社会学部カリキュラム改訂

改訂された現代社会学部のカリキュラムは、下記①～④の実現のため、「共存・共生へのアプローチ」科目、「時代の潮流へのアプローチ」科目、「キャリ・実務」科目、「教養演習」科目、専攻科目では「学部共通」（「基礎」科目、「地域づくり」科目、「国際交流」科目）、各専攻（「観光」、「環境デザイン」、「経営情報」）科目として整理統合した。

- ① 大学の基本理念、教育目標を具現化する教育の展開
- ② 富山国際大学が育成するコンピテンシー（出口で保証する能力）の明確化
- ③ 効果的な教育方法の組織的推進（組織的教育力の向上）
- ④ 教養教育の全学的一体的体系化、を目指すモノとした。

現代社会学部の対外事業関係**[1] シンポジウム・フォーラム開催**

- ① 第4回 ローカルサミット in 南砺 2011に連携して開催

東日本大震災に学ぶ「地域からの日本再生プラン」

—新たな暮らし方は祈りを忘れない～「土徳の里」からのいのちの紡ぎ直し～

9月23日(金)～9月25日(日)

< 9月25日 富山国際大学エクスカージョンについて >

第5回 日本海学・森のファンタジー「公開 FORUM」 里山こそ教育の場！～富山国際大学の環境～

1. 主催・共催・後援

主催：富山国際大学、日本海学・森のファンタジー実行委員会

共催：NPO法人 ものづくり生命文明機構

後援：富山県高等教育振興財団、富山県[立山博物館]、NPO法人 環・日本海、

NPO日本文化交流センター、富山市、北日本新聞社、(専) 職藝学院

2. 期間：2011年9月25日(日)～10月29日(土)(その2)

3. 会場：富山国際大学東黒牧キャンパス 他

4. 参加者：約50名

5. 参加費：無料

6. 日程

第5回 日本海学・森のファンタジー『アジアの視点と地域の自立』(その1)

講演会	7月31日(日)	みなと交流館(海王丸パーク内)
-----	----------	-----------------

10:00～10:20はじめに『新湊大橋の完成までの流れ』国土交通省伏木富山港湾事務所

10:20～11:00『海辺の地域の人と物のつながり』北野孝一(富山国際大学現代社会学部長)

11:00～11:45『海・里・山を結ぶ地域活性化』夏野元志(射水市長)

11:45～12:15 市民と若者が質問タイム講演を聴いてQ&A

第5回 日本海学・森のファンタジー『アジアの視点と地域の自立』(その2)

講演会	9月25日(日)	富山国際大学キャンパス
-----	----------	-------------

14:30～14:45 ウェルカム演奏 FUGA

14:45～14:50 開会の挨拶 富山国際大学現代社会学部長 北野孝一

14:50～15:20 「”地球村”を目指すキャンパスデザイン」

北野孝一(富山国際大学現代社会学部長)

15:20～15:40 「キャンパスの森づくり」 尾畑納子(富山国際大学現代社会学部、教授)

15:40～16:10 「ローカルサミットに参加して」 王禹浪(大連大学中国東北史研究所長、教授)

休憩

16:20～17:00 キャンパス見学

バスで富山空港へ移動

第5回 日本海学・森のファンタジー『アジアの視点と地域の自立』(その3)

講演会	10月15(土)	富山国際大学キャンパス
-----	----------	-------------

12:00～13:00 昼食『里・海の恵みを食学』

13:00～13:15 ウェルカム演奏♪ FUGA

13:15～13:20 開会の挨拶 金岡祐一 富山国際学園理事長

13:20～14:10 「タイガの森から」 野口栄一郎(FoE ジャパン代表)

14:20～15:10 「地域観光資源から」 柴田時和(株式会社あまかね地域開発代表取締役)

15:10～15:30 「第5回日本海学・森のファンタジー「公開フォーラム」総括」

北野孝一(富山国際大学現代社会学部長)

15:30～15:35 閉会の挨拶 中島恭一 学長

連携事業

第6回 白川郷・五箇山芸術祭 10月1日(土)～10日(月)(明善寺・和紙の里)
 展示 絵画：焰 仁 他、彫刻：井口悟志 他
 Concert FUGA 中山妙子・桑原志音・左瀧知・本間貴志 他

② 第8回 とやま産業観光フォーラム2012

- ・日時 平成24年1月18日(水) 午後2時～5時
- ・場所 富山国際会議場2階会議室
- ・主催 富山国際大学現代社会学部、とやま産業観光推進協議会、富山商工会議所
- ・後援 富山県、富山市、(社)富山県観光連盟、富山市観光協会、(財)富山コンベンションビューロー、富山商工会議所連合会、富山県商工会連合会、(財)富山県高等教育振興財団、富山観光創造会議
- ・プログラム
 - 13:30～14:00 受付
 - 14:00～14:10 開会挨拶
 - 14:10～15:20 **基調講演**
 「B級グルメで地域を売り込む～八戸発『B-1グランプリ』の発想と戦略～」
 八戸せんべい汁研究所 事務局長
 木村 聡 氏 (八戸広域観光推進協議会 観光コーディネーター)
 - 15:20～15:30 休憩
 - 15:30～16:50 **パネルディスカッション：B級ご当地グルメは産業観光となりうるか**
 パネリスト 八戸せんべい汁研究所事務局長 木村 聡 氏
 (財)地域振興研究所常勤理事・主任研究員 谷本 互 氏
 (株)シー・エー・ピー代表取締役社長 山下 隆司 氏
 コーディネーター 富山国際大学現代社会学部教授 長尾 治明 氏
 - 16:50 閉会

[2] 富山国際大学公開講座

① 「HIMI学」支援セミナー(後援：富山県高等教育支援財団)

- ・開催の目的・概要など

富山国際大学では、氷見高校において、平成22年度から氷見市資源を再評価し、氷見の地域づくりのあり方を考える「HIMI学」創造の教育活動が開始しました。地域の活性化・発展に貢献することを使命とする本学では、「HIMI学」構築の取組みを支援することも重要な役割のひとつと考えています。

そこで、「地域の自然・人文資源を保全しその魅力を高めながら、地域内外から人々を引き付け地域の発展につなげる」という観点に立ち、地域環境の保全と結合した観光・交流のあり方を考える本セミナーを開き、今後の発展に寄与することを目指します。

1 開講の場所：氷見市ふれあいスポーツセンター 第1、第2会議室 (富山県氷見市鞍川43-1)

2 開講の日時・内容・講師など

【第1回】

平成23年11月13日(日)

開講式 北野孝一現代社会学部長挨拶

「氷見の歴史と文化」、氷見市博物館館長補佐 大野 究 氏

【第2回】

平成23年11月19日(土)

「氷見の環境行政とくらし」、氷見市役所環境課産長 茶木 隆之 氏
&現代社会学部 尾畑納子 教授

【第3回】

平成23年11月26日(土)

「氷見の資源を活かした環境教育」、現代社会学部 才田 春夫 教授

【第4回】

平成23年12月10日(土)

「地域を活かした持続可能な住環境づくり」、現代社会学部 浦山 隆一 教授

【第5回】

平成23年12月17日(土)

「豊かな自然・人文環境を活用した観光・交流」、現代社会学部 高橋 光幸 教授

※ 開講時間はいずれも13:30～15:00

3 参加対象者など

- (1) 対象者：氷見市民、高校生、教職員など一般の方々を対象とします。
- (2) 定員：毎回定員50名を予定しております。

【3】富山国際大学「高校生！エコ体験学習ツアー」

事業野概要：森林の価値と日本の食を考える

日 時：平成23年8月1日(月曜日) 9時00分～15時00分

訪問場所：富山市小羽地区森林、土遊野農場

参加者：富山いずみ高校20名(2年生8名、3年生11名、教員1名)

主催：富山国際大学現代社会学部

協力：富山いずみ高校家庭クラブ

【4】平成22年度高校出講プログラム等による実施記録

高校などからの依頼により実施した回数は36件となった。受験生を少しでも増やしたいと本学が富山県内で最初に「出前講義」として開始したが、現在は県内の各大学、県の機関、経済界、国の各機関なども加わって当初ほどの効果は期待できなくなっている。全く本学に学生を受験させることを考えてもいないのに無料ということでの依頼や、業者主催のイベントへの講師派遣要請もあって、件数の増加への対応を検討すべき時期にきていると思う。

○ **高校と大学の連携実習及び講義**として2件(継続)が実施された。

① **富山県立大門高等学校：高大連携実習**

夏季休暇中に「インテック大山研修所と富山国際大学4号館」で1泊2日(8月10日～8月11日)で「コンピュータを使って富山を考えよう」のプログラムで情報処理・地理情報・ネットワークなどこれからのデジタル・ネットワーク社会の最前線を垣間見て進路選択や生き方などを考える場になることを期待して情報系関係教員陣が指導にあたった。

【1日目:8月10日(水)】

9:45～10:00 到着後(荷物は402号室に)開会式、担当教員紹介

10:00～11:30 **講義**「ユビキタス社会とネットワークの影響力」(401教室)北野 孝一 学部長 11:30

～12:00 富山国際大学東黒牧キャンパス見学など

12:00～13:00 昼食(401教室又は厚生会館)、休憩

13:00～15:00 **実習1**「デジタル地図で世界をみてみよう」(第3コンピュータ室)

指導教員：助重 雄久 准教授、谷口 新一 講師、宮森 玉江 さん

- ① 「Google Map」で世界をみてみよう(助重：約30分)

- ② ストリートビューとプライバシー(助重：約 20 分)
- ③ 自分たちからの情報発信！(SNS、ツイッターでこんな事できるよ)(谷口：約 50 分)
(途中、適宜小休憩をとります)

〈おもな内容〉インターネット上で無料で見られるデジタル地図やソフトを紹介し、それらを実際を使って、いろいろな地域のようすを見てみます。また街のようすを写真で見られる「Google Map」のストリートビューとプライバシーの問題について説明します。

15:00～15:10 休憩

15:10～17:00 **実習 2**「GIS(地理情報システム)を使ってみよう」(第 3 コンピュータ室)
指導教員：助重 雄久 准教授、宮森 玉江 さん

- ① デジタル地図は緯度と経度と高さが命！(約 20 分)
- ② GIS で社会の動きをとらえよう(約 20 分)
- ③ 47 都道府県のなかの富山県-GIS ソフト「MANDARA」を使ってみよう(約 45 分)
(途中、適宜小休憩をとります)

〈おもな内容〉最初にデジタル地図の利用でもっとも大切な緯度と経度と高さの話をしてします。その後、大学生が卒論のために GIS で作成した地図を数枚見て、GIS で何が読みとれるのかを説明します。最後に、簡単なデジタル地図 GIS ソフト「MANDARA」を皆さんに使ってもらい、GIS のしくみについて理解してもらいながら簡単な作業をしてみます。

*** 最後に、指導教員から、グループ毎に、テーマ設定とまとめ・プレゼンの構想などの概略を考えるためのアドバイスなど期待したい。**

17:00～後かたづけの後、インテック大山研修所に移動

18:00～20:00 夕食、入浴等

20:00～21:00 頃 懇談会(大学からは北野、黒田 明 参事が出席予定)

話題提供：「これからの社会・企業が求める人材は？」(仮) 北野 孝一 学部長

21:00 過ぎ～22:30 グループ毎にテーマ設定と発表のための話し合い(ノート PC 利用)

23:00 就寝

[2 日目:8 月 11 日(木)]

6:30～8:20 起床、朝食

8:20～8:30 大学に移動

8:30～11:50 **実習 3**「統計から富山を考えよう」(第 3 コンピュータ室)

指導教員：浜松 誠二 教授、高尾 哲康 准教授、宮森 玉江 さん

- ① 富山の特徴(約 60 分)
- ② Excel を用いたグラフの作り方(約 40 分)
- ③ グラフや地図の作成(約 90 分)
(途中、適宜小休憩をとります)

〈おもな内容〉さまざまな統計から富山県の特徴を考えてから、統計からグラフを作るコツを学びます。そのあと午後のプレゼンテーションに向けてグループでグラフや地図を作成していきます。グラフや地図を作成は教員全員がアドバイスします。

11:50～12:00 インテック大山研修所に移動

12:00～12:50 昼食(インテック大山研修所)、休憩

12:50～13:00 大学に移動

13:00～14:10 **まとめ・プレゼンテーション作成**(第 3 コンピュータ室)

〈おもな内容〉グループ毎に、実習で学んだ GIS やグラフ、写真などを使ってプレゼンを作成していき

ます。

14:20～15:00 プレゼンテーション発表(第3コンピュータ室)

〈おもな内容〉作成したプレゼンファイルを用いて、グループごとに簡単な発表を行います。最後に、大学の指導教員からコメント・講評など。

15:00～16:00 後かたづけ、アンケートの後、大学出発

17:20 大門高校到着、集会后解散

② 富山県立小杉高等学校：高大連携講義「異文化理解講座」

- 1) 7月21日(木)「ユビキタス社会とインターネットの影響」、(於：小杉高校)、北野 教授
- 2) 7月21日(木)「世界遺産への招待」、同上、佐藤 准教授
- 3) 7月21日(木)「原発事故(チェノブイリ、福島第一)への対応と世界の共有財産にすべきもの」、同上、PAVLIY Bogdan 講師
- 4) 7月22日(金)「リゾート地をめぐる人とお金のグローバル化～北海道・ニセコ～」、同上、成澤 教授
- 5) 7月22日(金)「不安、緊張、雑念などとのつきあい方」、同上、大谷 教授
- 6) 7月25日(月)「野菜の周年安定供給～なぜカボチャやレタスは1年中食べられるの?～」、同上、助重 准教授
- 7) 7月25日(月)「中国と日本～日常生活に見る文化の違い～」、同上、湯 准教授
- 8) 7月28日(木)「組織の中での役割分担とコミュニケーション」、同上、村瀬 教授
- 9) 7月28日(木)「コンビニエンス・ストアの秘密」、同上、小西 講師
- 10) 7月30日(土)「ル・コルビジエから安藤忠雄まで～20世紀の建築はどのように引き受けられたか～」、(於：富山国際大学)、浦山 教授
- 11) 7月30日(土)「くらしと水」、同上、尾畑 教授、*大学の実験室使用

[5] 富山第一銀行奨学財団からの助成による研究

平成23年度 富山第一銀行奨学支援財団の助成による調査・研究について

現代社会学部への23年度の配分額は96万円、3専攻とAA協議会にそれぞれ24万配分した。テーマと担当者(代表者)は下記の通り。

1) 観光専攻

テーマ：「富山県の観光の現状と課題に関する研究(IV)」(代表者 佐藤 悦夫)

2) 環境デザイン専攻

テーマ：「新時代に対応する環境デザイン学の構築に関する調査研究」(代表者 尾畑 納子)

3) 経営情報専攻

テーマ：「富山県産業観光の新たな事業創造に関する調査研究」(代表者 長尾 治明)

4) AA協議会

テーマ：「大学教育におけるアカデミック・スキルの習得方法をめぐって」(代表者 大谷 孝行)

[6] 「東黒牧ニュース」の発行

富山国際大学の創設の地・里山「東黒牧」の大学キャンパスでの日々の活動・里山林での「いのち」の営みや紡ぎあいの中からキラッと輝くニュースを発信して行く。東黒牧での大学の様々な活動の一端や豊かな自然の中での土に根ざした生き物の輝きを伝える事で大学そのものを真に知っていただく、加えて入学生を一人でも多く確保することに寄与したい。現状での入学生確保のための高校訪問では主として3年生・進路指導部を対象にしているが、2年生、1年生に対して大学を知ってもらう手段が極めて少ないのが現状である。地域学部創設以来7～8年間も継続して「課題研究コンテスト」、

「ホームページコンテスト」などの応募依頼（同時に大学の他大学との差別化の説明）のための訪問のツールにして、3年生のみでなく各高校の生徒全体を対象に努力を重ねてきた、一部の高校では高大連携に繋がって信頼関係の確立という成果や新聞記事なども通してそれなりの効果を挙げてきたと思っているが、マンネリ化も感じられるので、新たな広報の役割を担う媒体として創刊した。原則A4版1ページ（カラー写真を含む）とする。平成22年度は大学の様々な機会を捉えて東黒牧キャンパスを理解していただくツールとして、すこぶる好評であった。平成22年度はNO.1～NO.88を掲載した。この中から主要なモノを冊子体にして簡易製本した上、高校に配布した（年間を通しての植物や小動物の四季折々の生き物の生き生きと輝いている様や大学としての教育・地域貢献などの取り組みなど纏めたモノ）。平成23年度はNO.89～NO.158(平成24年1月23日現在)、年度末には約NO.165程度まで掲載か。平成24年度も継続して高校に簡易製本の上配布予定。

[7] 平成23年度国別研修「仏語圏アフリカ持続可能な観光開発」コース研修を実施予定

国際協力機構（JICA）は、アフリカ諸国を対象にした観光開発研修事業の実施を予定し、委託先として22年度に引き続いて富山国際大学が決った。研修のテーマは「持続可能な観光開発」で、アフリカ大陸の仏語圏のブルンジ、ガボン、ジブチ、カメルーン、マリ、セネガルの6カ国の政府の観光行政担当者ら10名が、本学では、2月17日～3月12日（2月13日來日～3月14日帰国）の予定で「自国における観光資源の価値を判断し活用できる」、「地域の人々の生活向上を考えた観光開発を計画することができる」、「地域の観光開発において必要な段階的なプロセスを踏まえた計画の遂行ができる」、「自然環境の保全に配慮した観光開発を計画することができる」などを目標に、講義、富山県内・外の関係地域の視察や討議・グループワークを精力的に重ねる。指導は本学の高橋光幸教授、成澤教授、才田教授、浦山教授、北野教授、佐藤准教授、視察先の関係者などが担当する。このような取り組みは県内の観光地に対して新たな国際的な視点での観光開発・地域間交流への示唆を与えるとともに本学の観光専攻の学生たちにも中間取りまとめや総括報告などに参加することで様々な多様性を踏まえた国際的な取り組みにも関心を持ってもらって、人的交流や途上国の国づくりに貢献するような国際人の育成にも繋がると確信している。

[8] (中国) 中国黒竜江省鶴崗師範高等専科学校と学術交流協定締結

昨年9月中旬に中国大連市の遼寧師範大学歴史文化旅遊学院を現代社会学部の学部長(北野)を団長に高橋教授、成澤教授、佐藤准教授の4名が訪問し学術交流に向けての協議及び交流講義を行った。その時に黒竜江省の鶴崗師範高等専科学校の辺炳鑫校長(学長)、慕建超副校長が学生を留学させたいので協議したいと約1,500キロもある大連まで車と飛行機を乗り継いで訪ねて来られた。富山県大連事務所の会議室で各々の大学の概要を紹介し、交流について話し合った。色々問題も予測されましたが、本学へ留学させたいという学生に対しての学長の強い愛情からの熱い思いに心から感動しました。その願いを実現する方向で本学の国際交流センターとメールで協議を続け、双方で交流についての方向性が概ねまとまりました。今年7月に「黒竜江流域文明論壇鶴崗フォーラム」への招待講演を受けて訪問(北野教授、浦山教授、藤井客員教授)した際に覚書を交わし、富山を訪問して本学の中島学長とで正式に協定締結をすることで合意しました。大連大学中国東北史研究中心主任 王禹浪教授を学術顧問とし、辺校長(団長)、張宗瑞 事務室主任、王金竜 政治文学歴史学系主任の4名をお迎えし9月26日に学術交流協定を締結しました。同時に本学の中国の大学との学術交流の拡大に貢献された王禹浪教授に本学の客員教授の称号が授与されました。協定締結を機に双方向の交流が活発化し本学の目指す「北東アジアの交流拠点」の重要な一角を担う事を期待している。

[9] 産官学が連携してのキャンパスの里山林での森づくり事業

(最前線の研究現場から「森林保全テーマに産官学が連携」:「実業之富山」2009.10月号に掲載)

富山市の「環境モデル都市」選定（平成 20 年度）に伴って策定された「富山市企業の森づくり促進事業」によるもので、平成 21 年度から継続実施。きんたろう倶楽部との協働事業は 6 年目。大学のキャンパスの広大な里山（約 5 ヘクタール）での生物多様保持・推進のための森林づくりの協同事業も年間参加者数が総勢 500 名程度となって喜ばしい反面そのための前準備、実施後の後整備の作業は膨大（年間大凡 50 人日程度必要）で今後継続して実施のためにはもっと組織的な対応の確立が急がれる。

1) ノエビア富山販売（株）・富山国際大学・富山市の協働事業（フォレストノエビア）

平成 21 年度から開始。5 年計画で国土の保全や地球温暖化防止、生物多様性保全などを目的に里山林整備、健全な森作り作業を実施。

- ① 平成 23 年 5 月 15 日 ノエビア、富山国際大それぞれ約 30 数名、県（とやまの森づくりサポートセンター）・市の関係者数名の参加のもと、里山林整備（除伐、下草刈、チップパー機による粉碎など）。
- ② 平成 23 年 10 月 16 日 ノエビア、富山国際大学それぞれ約 20 数名、県・市の関係者 2 名の参加のもと里山林整備。

2) (株) オスカーホーム・富山国際大学・富山市の協同事業（オスカーの森）

オスカーホームは、平成 23 年度から 5 年計画の予定で「富山市の企業の森づくり促進事業」に参加し、ノエビア富山販売と同じ日程で年 2 回実施した。活動場所はグランドの北東側。

- ① 平成 23 年 5 月 15 日 ノエビア富山販売、富山国際大学、オスカーホームと合わせて総数約 110 名の参加であった。
- ② 平成 23 年 10 月 16 日 ノエビア富山販売、富山国際大学、オスカーホームと合わせて総数約 100 名の参加であった。

3) 大和ハウス工業（株）・富山国際大学・富山市の協働事業（エンドレスハートとやまの森）

平成 21 年度から開始。5 年計画で健全な森づくり（混交林として整備）を実施（植林・育成も含む）。

- ① 平成 23 年 6 月 19 日 大和ハウス工業関係者 30 数名、県（とやまの森づくりサポートセンター）・市の関係者約 5 名、大学 1 名、総勢約 35 名で下草刈作業実施。今回は、なら（約 200 本）、くり（約 150 本）の植樹と標識立て、及び、伐採木から生えているヒコバエにも成長したらバランス取れるように総数 400 の標識が立ててあった周辺（半径 1m）程度事前に刈り払いして準備して於いたので作業はスムーズに進んだ。

4) 森林保全ボランティア「きんたろう倶楽部」と協働でキャンパス林の整備

富山市内では 7 カ所の活動地域を設定している。その中に富山国際大学キャンパスを含む東黒牧地域がある。平成 23 年度から NPO 法人「きんたろう倶楽部」となった。大学からは「環境サークル」の学生や教職員合わせて約 15 名を含めて総勢約 35 名が活動に参加した。

<平成23年度の教員活動実績>

教授 浦山 隆一

【著書・論文・報告】

1. 「黒部川扇状地の農村社会の変容（第4報）～入善町における農村への集合住宅・団地の進出～」(真岩六造・盛田親義・真岩利博・米沢亘との共同報告)；黒部川扇状地研究所編『研究紀要 黒部川扇状地 第36号』P93-116、(2011.3)。
2. 「住まいの風水学に向けて」；(社)富山県建築士事務所協会『らいちょう 第38号』P2-5、(2011.8)
3. 「沖縄の近世集落形成に関わる「抱護」林について」(澁谷鎮明と共筆)；富山国際大学東アジア交流研究会編『東アジア地域の歴史文化と現代社会』P63-77、桂書房 (2012. 1)

【口頭発表】

1. 第2回黒竜江流域文明鶴崗論壇招待学術講演「東亜ジアの風水思想が近世琉球王朝の国づくりに与えた影響—沖縄の伝統的地域環境デザイナー—」；(中国・黒竜江省鶴岡市にて発表、2011.7)
2. 中部大学大学院国際人間学研究科・学際シンポジウム「風水思想と東アジア」小特集<風水と抱護>学術招待講演「沖縄の近世集落形成に係わる「抱護」林への総合的アプローチ」；(中部大学リサーチセンターにて発表、2011. 10)

【研究活動】

1. 「沖縄の集落空間における人工林「抱護」の形態と機能に関する研究」(平成21年度～23年度)平成23年度科学研究費補助交付金[基盤研究(B)]研究代表者
2. 「沖縄の固有文化が持つ環境観と空間構成技術から見た集住環境の構成原理に関する研究」(平成22年度～24年度)平成23年度科学研究費補助交付金[基盤研究(B)]研究分担者
3. 「北陸・飛騨地域の伝統的文化・自然資源の観光的価値に関する研究」(平成23～25年度)平成23年度学術研究助成基金助成金[基盤研究C]研究分担者
4. 「景観の図像化プロセスの解明とナビゲーションとしての案内地図への応用」(平成23～25年度)平成23年度学術研究助成基金助成金[挑戦的萌芽研究]研究分担者

【大学主催地域社会活動】

1. 富山国際大学公開講座『HIMI学～環境保全を軸とした氷見市の観光・交流の在り方を考える～』支援セミナー 第3回「地域を生かした持続可能な住環境づくり」(氷見市ふれあいスポーツセンター、2011.12)

【学外活動】

1. 富山市民大学「実年ライフ知恵」コース、「続 快適な住まいの風水学～きもちのいい場所・空間・家～」(2011. 5)
2. 富山県立小杉高校高大連携「異文化理解講座」；「ル・コルビジエから安藤忠雄まで～20世紀の建築はどのように引き受けられたか～」(2011. 7)

【学外役員・学外委員会委員】

黒部川扇状地研究所副所長、入善町文化財保護審議委員

教授 大谷 孝行

【著書・論文】

- ・「人文・社会学部における初年次教育の試み」富山国際大学現代社会学部紀要 2011 年
- ・「森田療法と生き、森田療法を生きる」「生活の発見」誌 2011 年 6 月号
- ・北日本新聞のコラム「心のかたち」に、署名入りの記事として以下の日にわたって連載。
1 月 22 日、2 月 19 日、3 月 19 日

【学外活動】

1. 講演・発表

- (1) 高校及び地域社会への出前講義 講義題目、(主催、出講月日)の順で
 - ・「笑いと健康」(とやま健康パーク、1 月 22 日)
 - ・「気分振り回されない生き方」(浄土真宗本願寺派 発願寺、3 月 26 日)
 - ・「笑いと健康」(富山市体育協会、4 月 3 日)
 - ・「笑いと健康な人生」(高岡市健康増進課、4 月 18 日)
 - ・「笑いの効能」(福岡町連合婦人会、4 月 24 日)
 - ・「ユーモアに生きる」(高岡市社会福祉課、5 月 23 日)
 - ・「社会で働くにあたって必要な人間性」(高岡商業高校、6 月 1 日)
 - ・「笑いの効能」(富山医療生協、6 月 12 日)
 - ・「人生を前向きに生きる知恵」(富山市市民学習センター、6 月 20 日)
 - ・「笑いと健康」(富山医療生協、7 月 9 日)
 - ・「笑いと人生」(高岡市福祉保健部健康増進課、7 月 15 日)
 - ・「それでもやっぱり笑いましょう」(高岡市健康増進課、7 月 22 日)
 - ・「不安、緊張、雑念などとのつきあい方」(小杉高校、7 月 22 日)
 - ・「不安、緊張、雑念などとのつきあい方」(高教研養護部会高岡地区、8 月 10 日)
 - ・「人生と笑い」(富山県教職員厚生会、8 月 11 日)
 - ・「笑いと健康」(富山県市町村保健師研究連絡協議会、8 月 29 日)
 - ・「笑いの効能」(税経新人会全国協議会、9 月 10 日)
 - ・「笑いを忘れない人生」(高岡市健康増進課、9 月 26 日)
 - ・「それでもやっぱり笑いましょう」(高岡市健康増進課、10 月 10 日)
 - ・「笑いと健康」(県民カレッジ新川地区センター、10 月 22 日)
 - ・「笑いを忘れない人生」(高岡市健康増進課、10 月 28 日)
 - ・「森田療法と認知療法の接点」(生活の発見会富山支部、11 月 6 日)
 - ・「すばらしい日本人」(浄土真宗本願寺派 発願寺、11 月 23 日)
 - ・「外国人が見た日本～内観との接点～」(北陸内観懇話会、11 月 27 日)
 - ・「笑いと健康」(高岡市健康増進課、12 月 4 日)
 - ・「人生と笑い」(富山県経営管理部、12 月 12 日)
 - ・「人生と笑い」(富山県経営管理部、12 月 19 日)

(2) 本学主催の公開講座 講演題目、(開催月日)の順で

- ・「日本の精神療法に学ぶ生き方(1)」(5 月 7 日、CIC ビル)
- ・「日本の精神療法に学ぶ生き方(2)」(5 月 14 日、CIC ビル)
- ・「日本の精神療法に学ぶ生き方(3)」(5 月 21 日、CIC ビル)
- ・「日本の精神療法に学ぶ生き方(4)」(6 月 11 日、CIC ビル)
- ・「日本の精神療法に学ぶ生き方(5)」(6 月 18 日、CIC ビル)

2. 社会活動

- (1) 森田療法自助グループ NPO 法人「生活の発見会」富山支部委員
- (2) NPO 法人「生活の発見会」主催による富山集談会の運営及び司会。
(富山県民会館、1 月 9 日、2 月 6 日、3 月 6 日、4 月 3 日、5 月 1 日、6 月 5 日、7 月 3 日、8 月 7 日、9 月 4 日、10 月 2 日、11 月 6 日、12 月 4 日)
- (3) インターネット市民塾で「日本の精神療法に学ぶ生き方」開講。1 月～4 月。

教授 大西 一成

【論文】

1. 2011 『為替・輸出入におけるグローバル・インバランスの影響 Influences of Global Imbalance on Exchange Rates, Exports, and Imports～短期金利・為替・輸出入の推計を中心に～』富山国際大学現代社会学部紀要 第3巻
2. 2012 「経済危機後の東アジア経済の課題と展望～新たな日本と東アジアの姿を求めて～」富山国際大学東アジア交流研究会[編]『東アジア地域の歴史文化と現代社会』桂書房

【学外活動】

富山市男女共同参画推進センター運営協議会委員

【講演会】

1. 「日本経済をどう見るか～景気動向、財政赤字、雇用～」富山国際大学 サテライト市民講座 I (県民カレッジ連携講座) 2011年4月23日
2. 「豊かな暮らしを考える」富山市男女共同参画推進センター 2011年8月6日
3. 「日本経済の動向と社会保障～東日本大震災の影響を踏まえて～」富山県退職公務員連盟県大会2011年8月27日
4. 「日本の社会保障制度を考える～年金、医療、介護～」富山国際大学 サテライト市民講座 II (県民カレッジ連携講座) 2012年2月25日

【学外講座】

富山国際大学 エクステンション・プログラム

- ・「暮らしと社会保障制度を考える (第1部) ～年金、医療、地域社会を中心に～」2011年9月3日～10月8日 (5回シリーズ)
- ・「暮らしと社会保障制度を考える (第2部) ～財政赤字、少子高齢化、雇用の視点から～」2012年3月10日～31日 (3回シリーズ)

【非常勤講師】

富山大学 医・薬学部

「経済学」(前期)、「医療と経済」(後期)

教授 尾畑 納子

【著書・論文等】

1. 「くらしと水」:「SABO」, (財)砂防・地すべり技術センターVol. 106, 17-18 (2011) vol. 107. 20-21 (2011), vol. 108. 16-17 (2011)
2. 「家庭洗濯の衣類乾燥に関する地域間の比較研究」家政誌, 62(4) 223-232 (2011)
3. 「東アジア地域における水環境保全のための環境教育活動」:「東アジア地域の歴史文化と現代社会」(富山国際大学・遼寧師範大学共同論文集), 富山国際大学東アジア交流研究会編, 桂書房 (2012. 1) に掲載
4. 北陸電力グループCSRレポート社会・環境報告者2011第三者意見 (2011. 6)

【研究発表】

1. (社)日本繊維製品消費科学会2011年度年次大会研究発表会, 「アルカリ電解水洗浄における洗浄性と節水効果」(2011. 6. 25. 26, 武庫川女子大学)
2. The 5th International Consumer Sciences Research Conference, “A proposal of a new washing system that reduces the contamination of the water environment” (Bonn, Germany, July18th-20th, 2011)
3. (財)富山新世紀産業機構:とやま産官学金交流会2011 (2011. 11. 25. 富山国際会議場), 「節水と水環境負荷の軽減を考慮した洗浄の提案」

【研究活動】

1. 「被服整理学実験・衣料管理実験の化学物質リスク回避のための総合的研究」平成22年度科学研究費補助交付金〔基盤研究A〕継続:教育効果を高める安全な洗浄試験方法の考案について研究分担, (研究代表者大矢勝, 横浜国立大学教授)
2. 「節水を基軸とした環境対応型洗浄システムの提案」新規:機能水による節水効果、家庭洗濯に関する調査研究について分担, (研究代表後藤景子, 奈良女子大学教授)
3. 繊維製品消費科学会投稿論文査読(1件), 家政学会誌査読 (1件)

【学外活動】

1. 研究会・講演会・出講プログラム等講師
 - ・県民生涯カレッジ南砺市市民講座「くらしと水」(2011. 3. 3, 城端座)
 - ・富山県立氷見高等学校高校生向け講座「くらしと洗浄の基礎」(2011. 4. 26)
 - ・富山市民大学教養講座講師「とやまの水事情:くらしと水」(2011. 6. 3, 10. 27)
 - ・富山県立大学小杉高等学校高校生向け「くらしと水」(2011. 7. 30)
 - ・オープンキャンパス「くらしと水～災害に備えて～」(2011. 8. 20)
2. 各種委員等 (平成23年度)

学会関係:繊維製品消費科学会理事, 同学会誌論文編集委員、繊維機械学会北陸支部副支部長 等
 地域活動:富山県消費者協会副会長、富山県消費生活審議会委員長、富山県環境審議会委員、富山市環境審議会委員、富山市教育委員、チューリップテレビ放送番組審議会委員、富山県環境財団評議員 北陸銀行経営諮問委員 等

教授 北野 孝一

【講演など】

1. 「ライフスタイル・デザインについて」、未来フォーラム講演会、出会い助け合い学び合い3愛事業実行委員会、(後援：NPO環・日本海、ほか)、(於：富山国際大学C I Cサテライトオフィス)、平成23年2月12日
2. 「何をテーマとして、どんな研究の進め方をするのか?」、平成23年度普通科文理探求コース2年44名 人間・科学探究基礎：「探求のエキスパートに学ぶ」、氷見高校、平成23年4月26日
3. 「人生における職業観」、富山国際大学3年生 (キャリア支援講座)、大講義棟 I、平成23年4月27日、
4. 「大学で何が学べるのか?」、雄山高校1年生 (大学見学会)、平成23年6月13日
5. 「21世紀の地域づくりについてー日本海学からの視点ー」、2011・第2回黒竜江流域文明論壇鶴崗学術報告会招待講演 (於：黒竜江省鶴崗市夢北県界江国際大酒店界江堂：3階大会議室)、2011年7月14日
5. 「ユビキタス・ネットワーク社会とインターネットの影響」、小杉高校異文化理解講座、(於：小杉高校)、平成23年7月21日
6. 「海辺の地域の人と物のつながり… “21世紀の地域づくり” ～日本海学からの視点～」、海・里・山を結ぶ地域活性化フォーラム2011、(みなと交流館、海王丸パーク内)、(主催：富山国際大学；第4回森のファンタジー実行委員会)、平成23年7月31日
7. 「ユビキタス・ネットワーク社会とインターネットの影響 (市民革命)」、H23年大門高校・富山国際大学連携実習 (8/10～8/11)、(於：富山国際大学&インテック大山研修所)、平成23年8月10日
8. 「これから求められる人材は?」、H23年大門高校・富山国際大学連携実習、(於：富山国際大学&インテック大山研修所)、懇談会での講演、平成23年8月10日
9. 「アジアの地域社会とどのような繋がりを創っていくか」、第4回ローカルサミットin南砺2011、「日本の復興のアジアへの貢献」分科会・パネラー、(於：南砺市利賀)、2011年9月24日
10. 「富山国際大学における日本海学の実践とその意義」、日本海学連携シンポジウム・パネラー、『逆さ日本地図から見えてくるもの！ー森里海連環、アジア連携の意義ー』、(於：南砺市城端「じょうはな座」)、2011年9月25日
11. 「“地球村”を目指すキャンパスデザインーキャンパスの持つ環境・建築の価値ー」、第5回日本海学・森のファンタジー「公開フォーラム」(その2)：里山こそ教育の場！～国際大学の環境～、(於：富山国際大学東黒牧キャンパス)、2011年9月25日
12. 「日本海学をベースにした地域課題への新たな展開」、『東アジア地域の歴史文化と現代社会』、富山国際大学・遼寧師範大学共同論文集、富山国際大学東アジア交流研究会編、pp. 10-19、桂書房、2012. 1. 31. 発行に掲載
13. 「地域での新しいビジネスへの挑戦」、雄峰高校情報ビジネス科「課題研究」受講者 (10名)、(於：雄峰高校会議室)、平成12年1月30日

【委員など】

1. 富山国際学園理事・評議員 (平成13年10月～現職)
2. 「未来観光戦略会議」理事、(平成15年5月～現職)
3. 富山国際センター理事 (平成22年5月～現職)
4. 富山市社会教育協議会委員 (平成17年7月～現職)
5. 富山市通学区域審議会委員 委員長 (平成20年4月～現職)
6. コーディネータ連絡会議 (とやま産業クラスターネットワーク構築事業) メンバー (財団法人富山県新世紀産業機構) (平成18年9月～現職)
7. NPO法人「環・日本海」理事長、(平成20年6月～現職)
8. 富山県大学連携協議会GP企画検討委員会 委員 (富山国際大学)、平成20年4月～現職)
9. 富山県立八尾高等学校 学校評議員、(平成20年6月～現職)
10. 日本海学研究グループ支援事業審査委員会 委員長 (富山県知事政策室国際・日本海政策課)、平成21年4月～現職
11. 地酒で乾杯富山推進会議 幹事 (平成21年12月～現職)
12. 大連・遼寧師範大学歴史文化旅遊学院 客員教授 (平成22年9月15日)

教授 才田春夫

【著書・論文・学会報告】

- 1) 東アジア地域の歴史文化と現代社会 富山国際大学東アジア交流研究会編 第3章国際協調時代における大学の役割—国際協力を担う人材育成 桂書房2012年1月
- 2) JICA国別研修「仏語圏アフリカ 持続可能な観光開発」一部講義&テキスト作成担当
- 3) 「ふれあいネットワークとやま」寄稿：災害ボランティア活動報告 7月号
- 4) 「福祉とやま」寄稿：誇りに思う、困ったときはお互いさま 2012年1月号

【講演等】

- 1) 氷見の資源を活かした環境教育@富山国際大学公開講座「HIMI学」支援セミナー
- 2) 東日本大震災におけるボランティア活動@緊急特別講座「3・11以後の日本を問う」
- 3) 環境デザインから東日本大震災を考える@富山国際大学附属高校高大連携講座
- 4) 雄山高校授業：災害大国ニッポン—バイオマスエネルギーを考える
- 5) 富山県青年海外協力隊育てる会「災害ボランティア活動報告」
- 6) 富山県防災士会「災害ボランティア活動報告」

【学外活動】

- 1) 富山県ボート協会理事
- 2) NGOインドネシア教育支援理事
- 3) つながる笑顔 とやまNPOチャンネル監修

教授 高橋 哲郎

【講演】

- ・「일본 지역경제와 지역브랜드」
（「日本の地域経済と地域ブランド」）2011年 5月21日、大邱大学校（韓国）

【学外活動】

- ・富山地方最低賃金審議会委員（公益代表委員）
- ・富山地方最低賃金審議会 非鉄金属製造業専門部会 部会長
- ・富山地方最低賃金審議会 建築用金属製品等製造業専門部会 部会長
- ・富山地方最低賃金審議会 一般機械・自動車製造業専門部会 部会長
- ・第6期富山地方労働審議会臨時委員 家内労働部会委員
- ・財団法人環日本海経済研究所 共同研究員
- ・とやまビジネスプランコンテスト 実行委員会委員

【その他】

- 富山国際大学附属高校連携授業「経営情報で学ぶこと」2011年7月7日
- 富山国際大学オープンキャンパス模擬授業「シェア＜共有＞からうまれるビジネス」2011年8月20日
- 外部組織との共同研究 研究テーマ：韓国経済のシステム分析
共同機関：（財）環日本海経済研究所 韓国経済システム研究会

教授 高橋 光幸

【著書・論文】

- 1) 「中小企業による観光の取組み」商工総合研究所『商工金融』2011年5月号、pp.5-19。
- 2) 「日本における国際観光の展開と地域の課題」中島恭一・田広林監修『東アジア地域の歴史文化と現代社会』桂書房、2012年、pp.190-207。
- 3) 「砺波平野散村景観の現状と保全のあり方」『現代社会学部紀要』第4巻、2012年3月。

【研究発表】

- 1) 「日本の観光の課題」遼寧師範大学歴史文化旅遊学院（中国大連市）、2011年11月24日。

【研究活動】

- 1) 平成23年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金（基盤研究C））「北陸・飛騨地域の伝統的文化・自然資源の観光的価値に関する研究」（研究代表者：高橋光幸）

【学外活動】

○研究会・講演会・出講プログラム等講師

- 1) 「地域で暮らし観光客と交流する」今庄観光協会20周年記念講演、2011年12月4日、福井県南越前町。
- 2) 「豊かな自然・人文環境を活用した観光・交流」第5回「HIMI」学支援セミナー（富山国際大学）、2011年12月17日、氷見市。
- 3) 「富山県西部地方における外国人観光客の移動容易化のための言語バリアフリー化調査」委員、国土交通省北陸信越運輸局、2012年1月～3月。
- 4) 「庄川温泉郷のこれからの方向性」庄川峡観光協同組合研修会、2012年1月30日、砺波市。
- 5) 平成23年度地域別研修「仏語圏アフリカ持続可能な観光開発」コース、(独)国際協力機構(JICA)、2012年2月17日～3月12日。

○学会活動

- 1) 総合観光学会理事
- 2) 総合観光学会、日本観光研究学会、日本地域政策学会、文化経済学会<日本>会員

教授 長尾 治明

【論文・学会発表】

- ・「中小企業組合の今日的課題と活性化の考え方」『中小企業の生き残りのための経営戦略』共著 平成22年度財団法人富山県高等教育振興財団助成事業 3月
- ・日本都市計画学会2011年度(第46回)学術研究論文発表会 ワークショップ「北陸新幹線金沢開業後の広域連携を考える～高速交通機関を活かした観光連携の提案～」高山純一(金沢大学)・川本義海(福井大学)・加藤哲夫(名古屋産業大学)・長尾治明・埴将浩(日本海コンサルタント)・木谷弘司(金沢市都市政策局) 東京大学本郷キャンパス11/20

【報告書】

- ・「富山県寄付講義『観光政策論』報告書」富山国際大学現代社会学部 3月
- ・「中小企業組合活性化の方策について」共著 富山県中小企業団体中央会 3月
- ・「北陸圏の観光活性化～北陸新幹線開業に合わせた誘客キャンペーンに向けて～」共著 北陸経済連合 8月

【講演・研修会】

- ・「高齢者と地域づくり～地域活動あれこれ～」社会福祉法人富山県社会福祉協議会 富山県総合福祉会館(サンシップとやま)6階
- ・「休暇取得の分散化に関する地方意見交換会」北陸信越運輸局 富山国際会議場2階
- ・「地域資源の活用による地域の活性化について」富山県町村議会議長会 富山市市町村会館2階
- ・「組合活性化の方策について」富山県中小企業団体中央会 富山問屋センター流通会館1階中ホール
- ・「地域づくり・まちづくり」小矢部商工会
- ・「最近の経済状況」「企業における営業活動」新入社員研修 富山県地域職業訓練センター協力会 富山地域職業訓練センター4階
- ・「地域商業再構築一買い物弱者への取組み」社団法人流通問題研究協会
- ・「日本型グリーンツーリズムの取組みと今後の課題」韓国・大邱大学
- ・総会記念講演「地域の絆で築く、住んでよし、訪れてよしのまちづくり」明るい社会づくり推進氷見市民会議 いきいき元気館3階大ホール
- ・経済問題分野「富山の経済」富山県警察学校
- ・「北陸新幹線開業後に向けて一とやまの魅力づくり」富山ロータリクラブ卓話
- ・「円高の今を生き抜くために～ものづくり企業を取り巻く環境と今後～」滑川工業団地 富山市ハイテク・ミニ企業団地研修企業センター
- ・第12回K. CATフォーラム「北陸新幹線金沢開業後における北陸地域連携を考える」K. CAT アートシアターいしかわホール パネリスト
- ・富山市総合計画「市民説明会」富山市企画管理部企画調整課 C i C 5階いきいきKAN多目的ホール
- ・「住んでよし、訪れてよしの『観光まちづくり』による地域再生」上市町
- ・「組合連携の在り方」富山県中小企業団体中央会

【審議会・委員会】

- ・中部経済産業局 国土交通省北陸地方整備局 富山県 富山県教育委員会 富山労働局 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構富山職業訓練センター 財団法人富山県新世紀産業機構 富山県中小企業団体中央会
- ・北陸経済連合会 富山県公衆浴場業生活衛生同業組合 (株)富山県総合情報センター 富山商工会議所 高岡商工会議所 黒部商工会議所 コラボ産学官富山支部 公益社団法人富山県シルバー人材センター連合会 社会福祉法人富山県社会福祉協議会 富山市公設地方卸売市場 富山市 滑川市 小矢部市 南砺市 (株)まちづくりとやま等

【主な公的役職】

- ・富山国際学園評議員 財団法人地域振興研究所評議員 北陸大学野球連盟理事長 とやま産業観光推進協議会副会長

教授 成澤 義親

【著書・論文】

- 1) ～日本港湾経済学会創設50年記念出版～
日本港湾経済学会編『海と空の港大事典』（項目執筆）成山堂、2011年9月
- 2) ～富山国際大学・遼寧師範大学共同論文集～「東アジアにおける観光革命と旅の豊かさの研究
―序」 富山国際大学東アジア交流研究会編『東アジア地域の歴史文化と現代社会』桂書房、
2012年1月

【研究発表】

- 1) 「地域観光振興の取り組みが国際協力に果たす役割に関する考察～JICA仏語圏アフリカ
研修の取り組みを事例として～」 「第20回総合観光学会」（於：亜細亜大学）、2011年6月18日

【学会活動】

- 1) シンポジウム「青森観光の活性化について」コーディネーター、「第21回総合観光学会」（於：
弘前文化会館）、2011年11月6日

【受託研修】

- 1) JICA「仏語圏アフリカ 持続可能な観光開発」コース担当（計5名の教員で担当）2011年2
月18日～3月9日、研修対象者は仏語圏アフリカ諸国の観光省中堅幹部20名

【学外活動】

○国際研究交流

- 1) 遼寧師範大学（中国・大連市）との第2回研究会を同大学にて開催、交流を行った。2011
年11月23～27日

○高校出講プログラム等

- 1) 南砺福野高校「進路ガイダンス＝職業理解」、2011年3月23日「観光産業の話～入門編」
- 2) 富山西高校「進路ガイダンス＝模擬講義」2011年7月11日「日本の観光政策とVisit Japan
事業」
- 3) 小杉高校「異文化理解講座」2011年7月22日「リゾート地をめぐる人とお金のグローバル化
～ 北海道・ニセコの事例 ～」

○講演

- 1) 富山市民大学「世界の国々」シリーズ第2回、2011年6月17日（聴衆140名）
『『アイルランド』― 観光事情と現地での楽しみ方』
- 2) 富山市民大学「世界の国々」シリーズ第3回、2011年7月15日（聴衆140名）
『観光都市『ラスベガス』― 創設100年の歴史』

○学外委員

- 1) 日豪ツーリズム学会（副会長）
- 2) 総合観光学会（常任理事）

【学内】

- 1) キャリア支援センター長
- 2) 自己点検評価委員会委員
- 3) （現代社会学部）運営委員会委員
- 4) 観光研究の学生サークル(Explanet)顧問
- 5) 「遼寧師範大学歴史文化旅遊学院との共同プロジェクト」委員
- 6) 平成23年「JICA アフリカ仏語圏『持続可能な観光開発』研修プロジェクト」担当

教授 浜松 誠二

【著書・論文等】

- ◎『富山を考えるヒント』(Web-Site)に掲載。
- 健康関連産業クラスター 有機的な地域産業群の形成—Jan. 05, 2011
- 都市部で若干狭い住宅地の開発 住宅・土地調査—Jan. 24, 2011
- 稲作兼業農家を支える仕掛け 2010年世界農林業センサス—Feb. 13, 2011
- 全国平均から乖離した富山市の家計所得 団塊ジュニア世代の所得が寄与—Feb. 16, 2011
- 効率が低下している下水道整備事業 新規整備区域の人口密度—Feb. 18, 2011
- 懸念される廃棄物処理の行き詰り 乏しい最終処分場の余裕—Feb. 19, 2011
- 富山の世帯規模縮小の減速 団塊ジュニア世代は子育て期へ—Feb. 28, 2011
- 県人口は30年前の人口予測と一致 県民総合計画(1981年)人口推計—Feb. 28, 2011
- 県推計人口と国勢調査人口の乖離の周期性 Uターン人口の拡大期—Feb. 28, 2011
- 施設利用に特化する介護サービス 富山県と全国との比較—Mar. 09, 2011
- 稲作特化型農業 田が卓越する地勢条件—Mar. 26, 2011
- シェア減少のくい止め 富山市中心商業地区の再開発効果—May. 04, 2011
- 降雨は梅雨で増加、台風で減少 10年間での過去平均値の変化—May. 21, 2011
- モノづくりからサービス提供へ—Jul. 08, 2011
- 人口動態の変調 出生率の上昇・自殺率の低下—Jul. 09, 2011
- 市街化調整区域での住宅開発 富山市での人口変化—Jul. 25, 2011
- 高い施設サービス利用率は供給要因 高い介護保険料の背景—Dec. 03, 2011
- 高齢者が住む世帯の類型—Dec. 04, 2011
- 健康で非労働力の高齢人口—Dec. 08, 2011
- 発散する都市 2010国勢調査によるD I D人口の変化—Dec. 22, 2011
- ライフサイクルに伴う世帯類型の変化—Dec. 23, 2011
- 生涯非婚率 男22%、女15% 2010年国勢調査から—Dec. 25, 2011
- 2009年経済基礎センサスに見る富山県産業—Dec. 27, 2011他
- その他

【学外活動】

- マスコミへのコメント
 - 富山新聞 「住宅問題」
 - 北日本新聞取材 「非正規雇用」
 - 実業の富山 「富山県の産業」
- 講演等
 - とやま住まいとまちづくり推進懇話会 「富山の住宅産業」
 - 富山県統計教育研究会 「統計で見る富山」
- 委員等
 - 富山労働局地域事業等企画書評価委員会委員長

教授 村瀬 直幸

【論文】

「ゼロ成長軌道に乗った日本経済」、富山国際大学現代社会学部紀要、第4巻、2012年3月
「中小企業の生き残りのための経営戦略」、長尾治朗教授、高橋哲郎教授との共著、富山県高等教育振興財団助成事業報告書、2011年3月

【学外】

1. 富山県内7高等教育機関合同企業訪問事前指導および引率 8月11日、8月24日
2. 雄山高校大学見学会模擬授業 6月13日

准教授 後藤 智

【研究発表】

- ① 「自治体における租税徴収の方法や機構の変化と法」自治労連地方自治問題研究機構地方分権研究会 (2011. 11. 19)
- ② 「地域審議会あと三年余」富山県自治体問題研究所市町村合併研究会 (2011. 10. 25)
- ③ 「富山市の地域審議会」富山県自治体問題研究所市町村合併研究会 (2011. 12. 7)
- ④ 「旧大山町の20年間の財政状況 (市町村合併前の財政分析)」同上

【講演】

- ① 「市町村合併 (「平成の大合併」) とは何であったかーそこから学ぶものは？」富山国際大学エクステンションプログラム (2011. 2. 19)
- ② 「今日の道州制論の意味と問題点ー都道府県は時代遅れなのか？」富山国際大学エクステンションプログラム (2011. 3. 5)
- ③ 「『地域主権改革』とは何かー地方自治保障につながるのか？」富山国際大学エクステンションプログラム (2011. 3. 19)

【学会活動・社会活動等】

富山県自治体問題研究所理事長
日本科学者協会富山支部幹事
富山県インターンシップ推進協議会運営委員会副委員長
富山労働局・若年者地域連携事業に関する企画審査委員会委員長 (2011年3月)

准教授 斎藤 敏子

【論文・著書等】

1. 「観光ボランティアガイド活動の方向性に関する研究～広島先進事例について～」富山国際大学現代社会学部紀要 第3巻(2011年3月) 93-102
2. 日本港湾経済学会編『海と空の港大事典』(2011) pp114, 133, 135, 136 成山堂書店

【学会・研究報告】

1. 「富山県の観光ボランティアガイド活動が果たす観光の質的向上」平成23年度富山第一銀行奨学財団研究成果発表会にて報告(2011年6月7日)
2. 「観光振興による地域活性への提言Ⅲーサービス産業におけるホスピタリティ・マインドについて」、立教大学大学院地域活性研究部会(2011年11月26日)

【学外活動】

1. 地域出講プログラム等講師
 - ① 「富山を国際コミュニケーション企画に」第40回「街づくりサロン」NPO法人富山観光創造会議(2011年1月19日)
 - ② 「サービス提供時の接遇について」富山市社会福祉ネットワーク(2011年2月25日)
 - ③ 「感動を生むサービスとは」高岡市観光協会主催 観光事業者研修会(2011年3月8日)
 - ④ 「市民応接について」富山警察学校(2011年4月18日)
 - ⑤ 「ファーストクラスのサービスとは-お客様『満足』から『感動』するサービスへ」とやま観光未来創造塾(2011年6月22日)
 - ⑥ 「福祉サービスを提供する者としての礼儀・作法」山室地域包括支援センター(2011年7月27日)
 - ⑦ 「サービスマインド研修」富山市観光協会主催 富山市観光サポーター研修(2011年10月31日)
 - ⑧ 「プロのまち歩きガイドとしてのおもてなし」黒部市役所商工観光課、黒部観光ボランティアの会(2011年11月11日)
 - ⑨ 「ホスピタリティの質的向上について」社会福祉法人 特別養護老人ホームささづ苑 接遇向上研修(2011年11月24日)
2. 高校出講プログラム等講師
 - ① 「感動を与えるサービスとは」龍谷富山高等学校(2011年3月7日)
 - ② 「なぜサービス産業において顧客満足が重要か」富山県立八尾高等学校(2011年12月14日)

【新聞に掲載】

- ① 「観光振興に人づくり」県が「カレッジ」設置へ～レベルの高いガイド 地域づくりをリード～(2011年1月20日 朝日新聞)
- ② 「プロの観光ガイド養成」県が新幹線開業見据え講座(2011年1月20日 北日本新聞)
- ③ 「6月に観光カレッジ開講」県検討委員～新幹線見据え人材育成～(2011年1月20日 富山新聞)
- ④ 「観光カレッジ4コース設置」検討委員計画～4年間で250人育成～もてなしの技能学ぶ～リピーターの確保不可欠～(2011年1月20日 読売新聞)
- ⑤ 「好感持たれる接客学ぶ～高岡で観光事業者研修～」(2011年3月9日 富山新聞)
- ⑥ 「接客サービス学ぶ～高岡で研修会～」(2011年3月9日 北日本新聞)
- ⑦ 「粘り強い教育の成果日本流『おもてなし』の輸出(台湾日勝生加賀屋現地研修レポート)」(2011年3月21日 旬刊旅行新聞3面 執筆記事)

【その他】

- ① 国土交通省地域政策局観光地域づくり人材育成支援メンバー
- ② 富山県観光・地域振興局観光課 「とやま観光未来創造塾」検討委員・講師

准教授 佐藤 悦夫

●論文・著書等（単著）

「富山県五箇山地域の観光客動向に関する一考察：2010年調査を中心に」
『富山国際大学 現代社会学部紀要』第3巻 PP.103-137 （2011年3月）

●学会等報告

- ①「地域観光振興の取組みが国際協力に果たす役割に関する考察」（成澤義親、高橋光幸、佐藤悦夫） 総合観光学会、日本大学、（2011年6月）
- ②「文化遺産の保全と活用」（佐藤悦夫） 遼寧師範大学、（2011年11月）

●講演等

- ①JICA研修員（仏語圏アフリカ 持続可能な観光開発）に対する講義等
（2011年2月18日～3月9日）
- ②高校内ガイダンス「観光、旅行、ホテル分野」 入善高校 （2011年3月17日）
- ③「観光研究への招待」 富山国際大学附属高校 （2011年7月7日）
- ④「世界遺産への招待」 小杉高校 （2011年7月21日）

●フィールドワーク等

- ①五箇山・白川郷調査：「結い」の現状について（2011年7月15日～2011年7月16日）
- ②平泉・遠野調査 （2011年8月13日～8月14日）
- ③遼寧師範大学との共同研究、大連（2011年11月23～2011年11月27日）
- ④東アジア多文化交流ネットワークとの共同研究、大連（2011年12月15日～2011年12月18日）

准教授 助重 雄久

【著書、論文】

- 1) 二上山南東麓・伏木矢田地区における住宅団地の造成と変遷(分担執筆)、二上山総合調査研究会『二上山の自然と文化』、275-280.
- 2) 東海北陸自動車道全通後における飛騨高山観光の動向と課題(飛騨高山観光調査グループと共著)、富山国際大学現代社会学部紀要3、139-152.
- 3) 石川県輪島市白米(分担執筆)、NPO法人棚田ネットワーク『棚田とまもりびと～日本の棚田保全の現状～』、57-61.

【学会・シンポジウム発表】

- 1) わかりやすい観光案内地図の条件－地図の統一化を図る金沢市と他地域との比較－(助重ゼミ3年生・佐竹 里菜との共同発表)、2011年度(第66回)立正地理学会研究発表大会、2011年6月4日

【外部研究費採択】

- 1) 平成23年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的萌芽研究「景観の図像化プロセスの解明とナビゲーションツールとしての案内地図への応用」

【高等学校生への教育活動】

- 1) 富山国際大学現代社会学部主催「富山を知ろう」Part3～高岡の生活環境と観光を考える～、2011年8月6日
- 2) 大門高等学校・富山国際大学現代社会学部高大連携実習「コンピュータを使って富山を考えよう」、2011年8月10～11日
- 3) 富山県立雄山高等学校模擬授業「地図から富山市の歴史をたどる ～松川や環水公園は昔どんなところだったの?～」、2011年6月13日
- 4) 富山県立小杉高等学校高大連携異文化理解講座「野菜の周年安定供給～なぜカボチャやレタスは1年中食べられるの?～」、2011年7月25日
- 5) 富山国際大学オープンキャンパス模擬授業「沖縄の島で広がるスポーツと癒しの観光」、2011年8月20日
- 6) 富山県立水橋高等学校出講プログラム「インターネットが変える旅行予約と顧客満足」、2011年12月8日

【学外活動】

○各種委員

- 1) 日本地理学会代議員(2010年4月～現在)
- 2) 日本地理教育学会評議員(2007年4月～現在)
- 3) 立正地理学会評議員(2002年4月～現在)
- 4) 富山地学会幹事(2000年5月～現在)
- 5) 黒部市(仮称)地域観光ギャラリー展示空間検討委員会委員長(2011年7月～現在)
- 6) 富山県加工業務用野菜等供給拡大推進協議会委員(2010年6月～現在)
- 7) 岐阜県立益田清風高等学校「飛び出せスーパー専門高校生推進事業」運営推進委員(2010年6月～現在)

准教授 高尾 哲康

【著書・論文】

1. 「要約筆記品質評価システム」、富山国際大学現代社会学部紀要、Vol. 3, 2010
2. 「要約筆記品質評価システムの改良」、情報科学技術フォーラムFIT2011、3Q-5, 2011
3. 「要約筆記品質評価システムにおける筆記者評価」、富山国際大学現代社会学部紀要、Vol. 4, 2011
4. 「要約筆記品質評価システムにおける書き手のタイプ判別」、情報処理学会74回全国大会、3F-4、2012

【学外活動（研修会・講演、委員会委員等）】

1. 情報処理学会北陸支部評議員
2. 戦略的大学連携事業推進委員会SRMプロジェクト推進委員会委員
3. (株) ニューメディア編集協力員
4. 大門高校・富山国際大学 高大連携実習：「コンピュータを使って富山を考えよう」、実習3「統計から富山を考えよう」、「Excelを用いたグラフの作り方」
5. 情報センターセンター員、アカデミックアドバイザー

准教授 湯 麗敏

【論文・著書】

- ・「周作人の「私の雑学」に関する考察」富山国際大学現代社会学部紀要、第3巻、2011年3月
- ・「国際観光における異文化理解と国際交流についての考察」（富山国際大学・遼寧師範大学共同論文集）富山国際大学東アジア交流研究会編『東アジア地域の歴史文化と現代社会』桂書房、2012年1月

【研究活動】

- ・中国語のテキスト作成（白帝社）分担
- ・中国の大学との学術交流、研究発表会などの通訳と翻訳
- ・日中合同図書出版について（分担）
- ・遼寧師範大学歴史文化旅遊学院と観光学についての合同研究
- ・学会「日本中国語学会全国大会」、松山大学、2011年10月29～30日
- ・学会「日本中国語学会北陸支部学術発表会」 2011年2月12日

【学外活動】

1. 富山市民国際交流協会教養講座講師担当、2011年度全10回
2. 富山「ひまわり会」の勉強会指導2011年度全8回
3. 富山市民向けの公開集中講義「中国語の基礎」2011年3月5日
4. NPO法人高岡鳩の会「第19回日本対中国歌謡大会」審査員2011年3月27日
5. 海外における留学生募集の活動及び入試選抜仕事、留学生の父母との懇談会
6. 学生を引率して中国での異文化研修
7. 留学生を引率して学外での日本文化への体験
8. 高校出講プログラム県立小杉高校異文化教養講座担当 2011年7月25日
9. 高校出講プログラム県立泊高校異文化理解講座担当 2011年10月26日
10. エクステンション講座担当2011年度 全20回

【その他】

学内：国際交流委員会次長
 キャリア支援委員会委員
 現代社会学部運営委員会委員
 中国サークル顧問

講師 小西 英行

【著書・論文】

論文

1. 「教育サービスにおける真の顧客満足とは?～予習復習を奨励する試み～: Customer Satisfaction in Educational Service」富山国際大学現代社会学部紀要第3巻、2011年3月

【学外活動】

共同研究

1. 平成22年度「中山間地の活性化策を用いた課題解決手法の調査研究(共同研究者)」、社団法人 北陸建設弘済会 北陸地域づくり研究所

学会

1. 「日本商業学会全国大会」、熊本学園大学、2010年5月27日～29日

非常勤講師

1. 消費者行動論、星稜女子短期大学、2011年4月～2010年9月
2. マーケティング・コミュニケーション論、星稜女子短期大学、2011年10月～2012年3月

【学内活動】

部活動・サークル顧問

1. 東黒牧キャンパス学友会
2. サッカー部
3. ビジネス資格研究会 (B-KEN)

講師 谷口新一

【著書・論文等】

富山県内における小学生宿泊型自然体験活動へのニーズと満足度等に関する調査研究
単著、富山国際大学現代社会学部紀要・第3巻、2011年3月

【講演・発表】

平成23年1月22日 富山県こどもエコフェスティバル・エコ体験講師
(タワー111スカイホール)

平成23年2月12日 福光南部小学校PTA「家庭教育講演会」講演

平成23年2月19日 NPEC(財団法人環日本海環境協力センター)
「海洋ごみアクションフォーラム」ファシリテーター

平成23年5月28日 相ノ木母親クラブエコロジー研究会講師

平成23年10月12日 富山まなびあい大学講師

富山県「環境チャレンジ10」講師(年2回×3クラス、上市町立上市中央小学校)

富山県環境政策課「はじめてのエコライフ教室」講師(わかば保育園)

【学内活動】

東黒牧ニュース編集・発行委員会 編集長

平成23年4月 新入生オリエンテーション ファシリテーター

平成23年4月26日 氷見高校 文理探究コース講師

平成23年8月1日 富山国際大学「高校生!エコ学習ツアー」企画実施

平成23年8月10日 大門高校高大連携実習(情報)

【その他】

環境省環境カウンセラー

環境省生物多様性センター「いきものみつけ」富山県幹事

とやマスノーピアード立山山麓「雪の祭典」実行委員会幹事

富山県地球温暖化防止活動推進員

富山国際大学・E研(ECO研究サークル)顧問

富山国際大学・文芸サークル顧問

日本NPO学会会員

あそあそ自然学校(代表) <http://www.asoaso.jp/>